



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.135



## 3月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2022年3月1日

## 令和4年度を迎えるにあたって

副会長 涌井 史郎

2月17日、東京ビッグサイトで開催された第50回「国際ホテル・レストラン・ショー」に於いて講演をさせて頂いた。その際、賀詞交換会で国の公務の関係から出席が叶わず、暫くご無沙汰を重ねた会員諸氏や、ウッドリターンというこれぞ当協会の企画と、執行部の一員ながらも感銘し参加させて頂いた企画のその後の話など楽しいひと時を過ごさせて頂いた。

それにしても当協会のブースはエコに焦点を合わせ、結果として「NbS（今後世界的な環境に起因する社会的共通課題は、先ず自然の摂理というフィルターを通し、その解決策を見出す）」という世界的思潮に近い発想で、それを理論に留めるのではなく、具体の姿として展開している。そうした世界的思潮と現実的なビジネスを繋いだ企画が、当協会のブースをして、いつの間にかこの展示会に無くてはならぬ存在となっている。副会長という立場からは自画自賛と受け止められかねないが、その本意は企画展示に汗をかいて頂いた会員諸氏の深い知見と、共感を得るための表現の努力に対する感謝として受け止めて頂きたい。

会場における小生の講演は「新たな観光像が見えてくる」というテーマであった。地球環境問題の深刻さ、地球の環境容量が限界に近づく（プラネタリー・バウンダリー）。全ての地球人がこの限界との距離を稼ぎ、持続性を高めるために、最早全ての地球市民が行動をしようというルールブックSDGs。そこにCOVID-19というパンデミックがさながら我々に目を覚ませという警鐘のように襲い掛かってきたという状況認識。これらを包摂しながら、今や社会的大変容が起きようとしている事実。それが人々のライフスタイルや、ビジネスにも大きな変化をもたらそうとして

いる潮流を解説し、観光の姿も大きく変化させるという予見を披瀝した。

また、これまでは量的拡大に焦点を合わせてきた観光政策、そして観光経済論が主流を占めてきたがこうした社会的大変容が観光産業のBtoB、BtoCにも大きな影響として顕在化するであろうこと。故に今後は観光経済の方向を「入込客数重視の戦略から一人当たりの消費額を重視し、その双方がもたらす体積を膨らませる方向」に転換を図るべきと主張した。それは、とりわけインバウンドに大きな方向転換をもたらし、中でも我が国に欠落している富裕層へのアピールをどのようにすべきなのかが重要との認識を示させて頂いた。

こうした主張を基に、現在観光庁でそうした課題に取り組む施策の基本となる議論を進める委員会が設置され、参加をしている。その中でも興味深いのは富裕層の嗜好の大きな変化である。今富裕層は、先に述べたNbS的思潮の勃興を肌で感じ、享乐的で身体的な観光行動から、マインドリセットに基づく濃密な自然に触れ合ったり美の本質に迫る文化的体験を重視する方向に傾いているというデータの存在である。

当協会も国際ホテル・レストラン・ショーで展開をしているように、今後はそうした量から質へ観光行動の転換、とりわけ環境というホスピタリティーの原点を可視化した観光施設の在り方や、環境負荷の低減への具体策。その上に展開する新たな過ごし方や観光行動についての議論や提案が盛んになることを期待したい。

令和4年の当協会の活動が、そうした社会的大変容を予見した協会活動へと深められることを期待して止まない。

## 2022年 第50回国際ホテル・レストラン・ショー

ホテルズ実行委員会 委員長 浅野 一行

2022年 第50回国際ホテル・レストラン・ショーは、2月15日(火)～18日(金)、会場を慣れ親しんできた東京ビッグサイト・東展示棟(昨年は南展示棟)に戻し、コロナ禍においても感染症拡大防止対策に万全を期した体制の下開催されました。

今回掲げた総合テーマ「ホスピタリティで解く観光施設の未来 ～SDGsを踏まえて～」は、協会活動(今回のテーマ展示9つ)を、「もの」「社会」「自然」に対するホスピタリティ精神の発揮として、3つに分類し紹介したものです。

そして同時に、今回の出展はこれからの協会活動の背骨となる概念を会員の皆様と共有する場でもありました。会場では、協会ブース内センタープラザの大画面で繰り返し上映した総合テーマを補足する動画、及びその脇に掲示した一枚絵のイラストもご覧いただけたことと思います。

ブース展示は、昨年に引続き映像をメインとしつつ、同時により分かり易さを目指して、実物の展示も行いました。整然と並ぶ大型モニターの数々は壮観でもあり、映像の力を再認識させられました。

当協会主催のホスピタリティデザインセミナー「ホテル・旅館の開発&デザイン 最新潮流 2022」は過去最多 15 枠を主催し、涌井副会長の主催者記念講演を含め多くの聴衆を集めました。

来場者数では、昨年の約 2 割増しとは言え、コロナ前と比べれば影響をまともに受けた結果でしたが、今年もバーチャル展示会ですべての展示とセミナーをご覧いただけるようにしますので、ご期待ください。

## 建築部会の活動状況とこれから予定

### 建築部会長 崎山 茂

コロナ禍発生から 2 年あまり、一時は収束の兆しが見えたのが再び不透明になり、建築部会ではホテルス前に企画していた久し振りの新築ホテル見学会もやむなく延期しました。そのような状況下で WEB 中心の部会を繰り返し、22 年のホテルスショーには「水辺観光」というテーマで動画による展示を行ない、無事終わることが出来たのは幸いでした。私たちがこの数年行なってきた水上セミナーは東京の水辺を再考し観光資源を蓄積するための重要な啓蒙活動として続ける考えですが、ホテルスを機会に動画データを撮り貯めて活用出来たことで、今後の活動を WEB 上にも拡げていく可能性も見えてきたのではないかと考えています。

## 設備部会の活動方針とこれからの予定

### 設備部会長 藤野 健治

設備部会では、「地球環境保全関係の情報を収集研鑽し広める活動」「会員企業にとって興味のある施設の見学を通じて新技術等に関する幅広い知識を習得する活動」等を行っています。

令和 4 年度も、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、昨年同様に活動を継続して行きます。事業計画としては、2 回の施設見学会と 1 回の設備部会全体交流会を予定しており、新型コロナウイルスをめぐる社会状況を踏まえながら、幹事会にて実現に向けた打合せを進めます。見学会では会員各社の新製品や関心の高い施設の見学を行うとともに、交流会においてはセミナー・懇親会を通して各社の交流を深める予定です。活動状況につきましては、機関誌等に掲載し皆様に情報発信して行きたいと思っております。

## インテリア部会の活動状況とこれからの予定

### インテリア部会長 寺本 昌志

新型コロナの収束が見えない中、本年度も行動制限が強いられる状況で、会員の交流を目的とした部会活動の実施は、難しいものとなりました。ただそのような状況下でも、各グループでは安全第一を前提として、活動実施に努力して参りました。セミナーグループでは 2022 年 3 月セミナー実施に向け打合せ中で、Web とリアルハイブリッドで実施予定。宿泊施設見学グループは 4 月にメトロポリタンエドモンドホテル、10 月に潮見プリンスの見学会を、2022 年 2 月にはホテルオークラ東京の見学会を行い、いずれ

も皆様の好評を得ることができました。注目施設見学グループ、新情報発信グループはいずれもグループミーティング等を重ね検討しましたが、残念ながら本年度の実施には至りませんでした。

来年度(2022 年度)の活動については、こういった状況を踏まえ計画立案しています。セミナーグループは 2023 年 3 月にセミナーを 80 人規模で開催、宿泊施設見学グループは 4 月に芝パークホテルの見学を予定しており、2023 年 2 月に 2 回目の見学会を予定しています。注目施設見学グループでは 11 月に見学会を検討中で、新情報発信グループは 5 月に商店建築編集長を迎えて「編集者側から見た現代のホテル設計」をテーマとして研究会を開催予定です。その他部会運営の為、幹事会を 3 回予定しています。

コロナ禍の状況は続きますが、会員の皆様の健康と安全を第一に考え、有意義な情報提供と、より良い交流を行えるよう努めて参りたいと思っております。

## 賀詞交歓会を開催しました

恒例の賀詞交歓会を観光庁 柿沼観光産業課長の来臨のもと、2 年ぶりにホテルメトロポリタン・エドモンドで 11 時～12 時 30 分の間リアル開催致しました。

コロナ禍の変異株オミクロンの感染拡大が危惧されるなかでの実施であったため各社 1 名の登録制とし軽食の提供無しで行いました。後半の時間を利用してウッドリターンアイデアコンペの表彰式も併せて開催し、会場に来れない会員の皆様にはオンライン配信を行いました。

当日の参加者はリアル参加 95 名、オンライン参加 59 名でした。

## 2022 年度通常総会開催日及び会場について

通常総会および総会後の講演会は 6 月 15 日(水)ホテルメトロポリタン・エドモンドで開催することにしました。

## ♥編集後記♥

先月行われました事業年度の締めくくりとも言えるホテルレストランショーも、これまで通りの体制に戻って盛大に開催することが出来まして、厳しい状況の中でしたが今年度の事業も無事に終わろうとしています。新年度もまだまだコロナによる弊害が続くと思いますが、コロナ禍などには負けずに全員で協力して、協会の事業に取り組んでまいりたいと存じます。

Y. K